

南風原町 Haebaru

沖縄本島南部地域のほぼ中央に位置する南風原町は、周囲を6市町村に囲まれ、県内では唯一、海に面していない町です。内陸部にあって、現在は那覇空港自動車道や幹線道路が走り、昔から交通の要所として役割を果たしています。



ACCESS

■アクセス

バス 那覇バスターミナルから 約25分

琉球バス 50 51 53 54 83

沖縄バス 34 35 39 40 41 100 109

東陽バス 30 37 38 91 191

タクシー 那覇空港から 約20分 渋滞時約35分 約2,000円



南風原町観光アプリ

iPhone の場合

- 1 端末の「設定」アイコンをタッチ
- 2 「Wi-Fi」をタッチ
- 3 「ネットワークを選択」一覧から「oc-haeburu-wifi」を選択



Android の場合

- 1 端末の「設定」アイコンをタッチ
- 2 「無線とネットワーク」をタッチ
- 3 「Wi-Fi」のチェックボックスをオン
- 4 「ネットワークを選択」一覧から「oc-haeburu-wifi」を選択



おさんぽ APP
景色にカメラをかざすと
スポット情報が一目瞭然！

スタンプラリー
イベントなどにも参加して特産品などをゲットしよう！

写真撮影
はえるんや沖縄定番のフォトフレームが使える！

ゲーム
南風原町を題材にしたパズルに挑戦！

グルメ
地元の人しか知らない穴場の
グルメスポットなどを紹介！

防災マップ
南風原町内の避難場所がわかる！

観光ポータルサイト「南風原観光サイト」

南風原町観光



南風原町公式 facebook はえべる日和



南風原町 キャラクター紹介

南風原町の自然の中で太陽をサンサンと浴びて育った明るく、元気いっぱいのはえるんです。南風原町は沖縄県で唯一海に面していないけど、かぼちゃやへちま、かすり織り体験などおいしいものや楽しいことがいっぱい！南風原町に遊びに来てね！！待ってルン♪



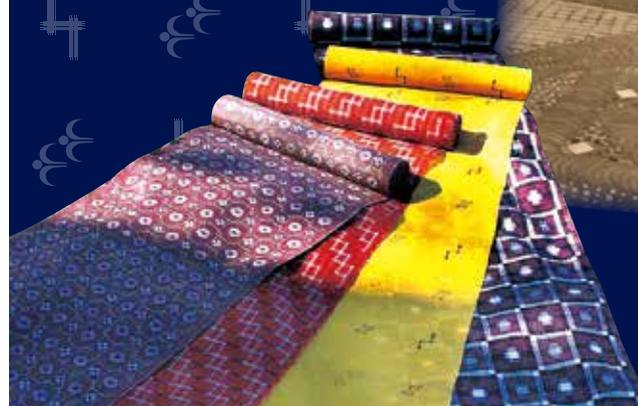
一般社団法人
南風原町観光協会

住所 〒901-1112 沖縄県島尻郡南風原町字本部158番地
TEL 098-851-7273 FAX 098-851-7109
MAIL chiiki-machidukuri@haeburu-kankou.jp

かすりの道

一般社団法人 南風原町観光協会

南風原町



琉球かすりは

祖先から大切に受け継いだ、永く愛されるかすりを作り続ける街

琉球かすりとは、沖縄で作られる絣織物の総称ですが、最近では南風原町を中心に織られるかすりの事をさすようになりました。幾何学模様が特徴で、琉球(沖縄)から日本へ伝わり、薩摩かすりや久留米かすりなどに影響を与えたとして「日本のかすりの源流」とも言われています。かすりの起源は、紀元前3~4世紀のインド。そこから東南アジアを経て、

他国との貿易で得た色彩や技法を取り入れながら、独自の美しさを創りあげてきました。15~16世紀に飛躍的な発達をとげますが、薩摩の侵略から約300年間は厳しい管理の元で貢布として織られる事になります。ようやく庶民の晴れ着として生産されたのが1910年代。やがて南風原の織物は、括り、染め、織り等の分業体制を整えていきます。琉球かすりを戦後

真っ先に復興させたのも南風原。焼け残った機や道具を集め米軍払い下げのロープなどを解いて、豆腐袋から織り始めたそうです。



琉球かすりの特徴

工房毎に伝わる図案集は、琉球の宝物



制 作の一番最初に行うのは図柄を決める「意匠設計」で、細かいほど高い技術が必要とされます。図柄を作成する上で手引きとなるのは、琉球王府時代の『御絵図帳』と代々織り続けられて

きた工房に伝わる図案集になります。琉球かすりは、元々「紺地の木綿かすり」が主流でしたが、庶民の生活が豊かになるにつれて、絹が多くなり色とりどりのかすりが生産されるようになりました。

琉球かすりの制作工程

たくさんの工程が、作り手の思いを紡いでいく

か すりとは、経(たて)と緯(よこ)の糸が交互に織り込まれる平織りの織物の事を言います。織る前にあらかじめ糸を染色して模様を作る技法のことで、織り

上げる図柄を基に糸を染め染め分けます。糸の伸縮によって柄がずれるのを防ぐための工程もあり、図案通りに糸を整えてから織り上げるまでに数多くの工程が必要です。



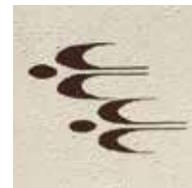
多彩な図柄

か すり柄を大別すると経(たて)かすり・緯(よこ)かすりなどがあり、それらを組み合わせることで様々な図柄を織りなしてい

図柄に織り込む、大きな希望

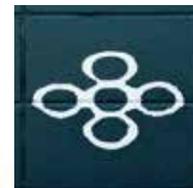
ます。その数は500~600種類。これらは植物や動物をはじめ、生活用品などをモチーフとし、非常に柔軟な発想によって型どられていま

す。先祖から伝えられた多くの図柄模様は、かすりロード周辺住宅の壁に見るコトができます。ぜひ、探して歩いてみてくださいね。



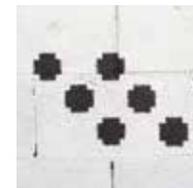
トゥイグワー

2羽で飛ぶ鳥を表した文様。琉球絣の中で最も多く用いられる。



イチチマルグム

5つの丸い雲を表現した文様。琉球絣の代表的な柄のひとつ。



プリプサー

経絣と緯絣の重なりで地色との対比を強調。夜空の群星を表現。



経緯絣(たてよこがすり)

ハタに似た絣と2つの四角は、絣全体にバランスよく配置される。

かすりの道旅 ⁷

【モデルコース】

「琉球かすりの里」宣言をした南風原町。
街のアチコチで、その光景を見ることができます。
琉球かすりの製作工程を探しに行ってみよう!



A 南風原町観光駐車場

観光に最適な駐車場をご用意

南風原町観光巡りや、かすりの道で行う、まち歩きやイベント等にご利用下さい。
マイクロバス1台、自動車18台、身障者用駐車場1台駐車出来ます。



1 琉球かすり会館

check!

絣コースター作り体験や
絣商品を販売中!
詳しくはP6へ

伝統の技と想いを受け継ぐ、後継者を育成

沖縄戦後、真っ先に発展を遂げた南風原のかすり生産も、変革を求められる時代を迎え、手織り業者が集まって組合を作り、作業の安定と社会的地位の向上を図りました。糸や染料の共同購入のほか、機材の安定供給体制を作り製品には組合証を発行

するなど、かすり事業の拠点として、このかすり会館が建設されました。現在でも、後継者の育成に力を入れており、1階では展示販売も行なっています。また、見学や、機織りの体験をする事もできるので、散策の最後に立ち寄るのもオススメ。



住 南風原町本部157
(マップ番号/B-2)
☎ 098-889-1634
営 9:00~17:00(閉館17:30)
休 日曜日、祝日(年末年始、旧盆)



2 本部の石獅子

沖縄戦を耐えぬいた、ユニークな顔の守護神シーサー。



3 イジューンガー公園

公園の外周には、染料となる木が数多く植えられている。

4 丸正織物工房



機織りの優しい音が聞こえてくる家

括りから機織りまで、家族三代で琉球かすりの反物を作っている工房。着物やシャツ、ネクタイ等も取り扱っている。自宅兼工房なので、見学の際はお声をかけを。



5 糸張り場 (糊付張り伸ばし)



3つの工程が行われる、糸張り場

「括り作業中に模様が合わなくなってくるのを防ぐ」「染色終了後の糸を整える」「図案通りに柄を固定する」。かすりの糸を作る上で欠かせない場所である。



6 大城廣四郎織物工房



かすり柄を思わせるステキな外壁のかすり工房

先代の織物作家である大城廣四郎さんの技を受け継ぐ工房。着尺や帯だけでなく、ネクタイ、やシャツ、財布といった加工品の他に、タペストリーやテーブルセンターといった珍しい加工品も製造販売している。2階の工房見学も無料で可能。

7 古民家 (謝名家)



懐かしい沖縄の古民家で一休み

南風原に多いセメント瓦。今ではめずらしくなりましたが昔を知る上で貴重な水タンクも残っています。休憩場所にもなっているので散策の間の一休みにもお使い下さい。

check!

古民家を会場にイベントも開催!
詳しくはP8へ

8 洗濯屋



季節の入ったかすり用洗濯機も味があってカッコイイ!

洗濯屋は分業として専門的に行われている。織り上がった反物は丁寧に水洗いをし、更に湯のし幅出しを行うのだが、木綿と麻に限りうすく糊付けをする。青空の下で、干した反物が風にそよぐ光景は実にのどか。見学するなら、天気の良い日が◎。

のんびり
てくてく

かすりの道旅²

[モデルコース]



9 大城織機製作所

名工認定を受けた、二代目機織屋さん

戦前はたくさんあった製作所も、今はこの大城織機製作所だけ。先代の技を受け継ぎ、選定保存技術保持者(手織製作)を受けた大城義政さんの技が光る。



10 デームイ毛と石獅子

琉球時代に、のろし合や見張り台として使用されていた丘。



11 ナカヌカー公園

散策の休憩に最適な、街の憩いの場。

道からちょっと外れて... かすり寄り道スポット



B 本部児童館

散策の休憩に最適な、街の憩いの場。トイレを借りる事も可。



C 照屋の 緋括り職人

経緯(たてよこ)かすりの位置や大きさ等、意匠を指導しながら括りを請け負う職人。小さな模様を一定の強度で括る緯(よこ)かすりは、浸染で均一に染まり自然に出来る模様のずれが美しく、整った経(たて)かすりも製織で柄が併せやすいとの評判。



琉球かすりの工程を一挙に集約

広い敷地内で、括りや染め、織り等の全ての工程作業を行っている工房のひとつ。かすりだけでなく、花織なども手がけている。少し遠いが、立ち寄る価値アリ。

地域のガイドさんと巡る! かすりの道ツアー

かすりの里の風景を体感する「かすりの道」。伝統が受け継がれる工房や集落を、地域ガイドと一緒にめぐるツアーです。ガイドの説明に耳を傾けつつ、のんびり散策してみてください。どこからか「シャラートントン」と機織り機が聞こえてくるかも。



地域ガイドと一緒に歩き、緋や集落の魅力を紹介します。



工房では職人の説明を聞き伝統の技を生で見学できます。



途中、古民家ででの休憩で地域との触れ合いも楽しめます。

- 催行日・出発時間/要相談
- 所要時間/120分
- 参加料金/要相談
- 定員/5名~10名
- 集合場所/かすり会館 または 南風原町観光駐車場 ※ツアーにより異なります
- 主催・問合せ/一般社団法人 南風原町観光協会 ☎098-882-6776 (はえばる観光案内所)

Check! かすり会館で緋をもっと楽しもう!

緋コースター作り体験

世界で一つだけの緋コースター! 伝統的なはた織り体験が琉球緋会館で体験できます。職人さんのレクチャーを受けながら、オリジナルの琉球緋コースター作りにチャレンジしてみましょう!



実際に体験された方の作品!

こんな緋商品も買えちゃいます!



緋好きは買っちゃおう!

もっと知りたい かすりの道

かすりの道が繋ぐ3つの地域

同じ南風原町内でも、地域によって行事や習慣も違うもの。それを繋いでいるのは、間違いなく「琉球かすり」がそのひとつ。その制作を分業制にする事で、助け合いながら共に発展してきたこの地域は、どこか懐かしく、ホッとする町並み。

南風原町

喜屋武
本部
照屋

本部 Motobu

カンナの花が、道行く人を笑顔にする

多くの工房が立ち並ぶ「かすりのまち」で、沖縄でもここにしかない織機屋が残っています。集落の「お父さん」たちが朝早く集まって掃除や手入れをしている「カンナ通り」には色とりどりのカンナが咲き誇り、通る人々の目を楽しませています。



喜屋武 Kyan

みんなで楽しむ行事が、多数存在

南風原町の南東に位置し黄金森を背中にかまえる集落です。昔から染め織り業が盛んで、特有の煙突や干し台が集落内に多く残っています。「綱引き」「十五夜遊び」など伝統的な行事も多く残り、集落の人々の大きな楽しみの一つになっています。



照屋 Teruya

産業が栄えた、賑やかな地域

琉球王国時代から続く「旧十集落」の一つで、かつては隣接する喜屋武・本部と共に農業と織物業を主な産業としていました。舞方棒(棒術)や舞踊、綱引きなどの伝統もしっかり継承され、現在でも盛んに行事やイベント時に披露されます。



3つの地域に伝わる伝統芸能

本部 MOTOBU 獅子舞



喜屋武 KYAN 長者の大王



照屋 TERUYA 舞方棒



かすりの道で活躍中!

かすりの道盛り上げ隊

地域に親しまれるかすりの道のために、有志12名が隊を発足させました。琉球絃の発展と地域活性のために、かすりの道周辺の清掃や植栽など、幅広い取り組みを行っています



ちゆら花会

大好きな花でかすりの道を彩ろうと発足し、多くの人を魅了する道作りに取り組んでいます。地域住民の憩い場としても大切な活動となっています。



Check! 古民家イベント



落語

古民家謝名家で開催する「落語会」。かすりの道を歩き、趣ある古民家で、日本の伝統話芸を楽しめるイベントです。落語は初めてという方でも、開演前に説明もあるので、どなたでも気軽に落語の世界を楽しめます。



古民家(謝名家)が会場!!



お茶会

お茶の先生をお迎えして行う茶会。落ち着いた古民家でお作法などをご指導いただき茶道の魅力を存分に味わえるイベントです。初めての方も楽しみ、喜びの声も多くいただいています。



チャンプルーフェスタ

地元南星中学校の吹奏楽部や地域の伝統芸能なども披露し、とても盛り上がるイベントです。はえるんやかすりの女王も一緒に盛り上げてくれます。



藍染め体験

南風原町で栽培しているインド藍を使用し、子供から大人の方まで幅広く毎回好評のイベント。

